

YMCA 大阪青年

11

2021年11月1日発行
1916年5月1日創刊
発行/小川 健一郎
編集/大阪 YMCA 広報室
〒550-0001
大阪市西区土佐堀 1-5-6
Tel 06-6441-0894
Fax 06-6445-0297
URL: <http://www.osakaymca.or.jp>



大阪YMCAと社会福祉の課題

大阪YMCAの創設以来の長い歴史をふりかえると、キリスト教精神にもとづいて、若い人々に対する英語や商工も含めた教育事業を進展させ、市民労働学院など、働く人に生きる力、生きた学問を提供し、民主主義にもとづく協同社会を築く力を高めようとしてきました。それは、人々の生活を支援し、社会問題に応える活動と一体となったものでした。

1893年に夜学校を開校し、1910年に人事相談部を設置して職業紹介事業を始めています。その後も青少年の組織、キャンプやグループワークを通して人のつながりを築いてきました。それだけでなく、設立3年後の1885年6月に大阪で大水害が起こった時に療養所を開設、その後も濃尾大地震や関東大震災はじめ、今日まで災害時には救援活動を行っています。また、身近な生活の場と国際的な連帯の広がり両面で、人権と平和の実現に向けて草の根での働きも続けています。「行って、あなたも同じようにしなさい。」(ルカ10:37)それは昔も今も、隣人と共に生きる

YMCAのもつ使命です。

いま、社会福祉をめぐる二つの課題があります。一つは、この間の市場原理主義、自己責任、規制緩和、非正規雇用の拡大等と連動して、生活の格差・貧困の広がりが次第に大きくなり、社会保障の再確立の必要が明らかになってきました。そうした矛盾が、コロナ感染拡大の中で浮き彫りになり、私たちの生活のさまざまな困難を一層深刻化させています。自立支援と地域共生社会の理念、SDGs、権利擁護、多様性の承認等の取り組みが、誰もが安心して暮らせる生活保障と基本的人権の確立と一致して進められるように、改めて社会と社会福祉のあり方が問われています。

もう一つは、一人ひとりの希望を支え、人格的な絆を回復させ、協同・連帯を地域の中から築く、そうした福祉の価値とその主体的実践が求められています。社会福祉は、政治や経済と密接に結びつくとともに、問題発見・問題解決の力や人権感覚、ソーシャルアクションの課題とも結びついています。

コロナの状況は子どもから高齢者まで影響を与え、社会福祉への期待は大きいものがあります。キリスト教の全人的な人間理解、隣人愛に根ざした保育・子育て支援、介護、みんなの居場所づくり、担い手の養成が欠かせないものであり、大阪YMCAの地域に密着した取り組みに期待されることです。

大阪YMCAが、過去の豊かな歴史的経験をふまえて、その原点と希望に支えられてさらに発展することを、そして平和、人権、共生、福祉の実現に向かって、地の塩としての働きを続けられることを願っています。



日本福祉大学名誉教授
ながおか まさみ
永岡 正己

■大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。

- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭、地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人のびとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み、平和で公正な世界をめざします。

喫茶ボランティア **森石 かをる**

サンホームで喫茶ボランティアとして活動しています。コロナ禍で最近では皆さんになかなかお会いできなくて寂しいです。私とサンホームとのご縁は、両親が入居者としてお世話になったことで始まりました。その後、何か私にもできることはありませんかとお尋ねしたところ、喫茶を手伝ってくださいと言われ、私にできるのかとても不安でしたが、やってみることにしました。先輩ボランティアさんの指導やアドバイスをいただき、毎回利用者さんに、「味はどう？濃いや？薄い？」と聞きながらどうにか続けてこれました。皆さんが私を受け入れてくださったお陰です。

喫茶のおばちゃん達は楽しいです。明日は喫茶の日と思うとちょっと緊張しますが、それも私の元気印につながっています。楽しくおしゃべりして、笑って、ちょっと気分転換できたら良いな。そんなお手伝いができたら嬉しいです。

※森石さんはご夫婦でサンホームの喫茶コーナーをはじめ、季節の行事などの活動に参画されています。



東大阪地域コースボランティアリーダー **西井 麻子**

私は、東大阪地域に所属している4年目のあさりリーダーです。「子ども広場」という地域の子どもの居場所づくりに取り組んでいます。放課後に一人で夕飯を食べる子どもが、安心して過ごせる居場所として、また、一人で過ごす子どもとその保護者の不安やストレス軽減につながる活動を行っています。1年半の間、コロナ禍で中止していたこの活動を、多くの方々の力をお借りして10月から再開しています。私事ですが、リーダー活動を何度か辞めようと思ったことがあります。周りのリーダーとの温度差や、自分では子どもたちの成長を育むことができないと感じていたからです。そんな私が4年間続けたのは、東大阪地域の仲間がいたからです。本音を打ち明けられたり、失敗しても励ましてくれたり、心から心配してくれたり、本当に尊敬できる仲間がいたからです。私にとってリーダー会は「どんな自分でも受け入れてくれて、安心できる居場所」になっていました。私はこの温かい東大阪地域のリーダーたちと、子どもたちに安心できる居場所を新しい形で必ず作りたいと思っています。そして、子どもたちにも私のように「自分の居場所」を感じてほしいです。

※「子ども広場」は全国YMCAコースチャレンジ2021に採用されました。



サンホームのロビーのリニューアル

サンホーム施設長 **大塚 由実**

YMCAサンホームは、1997年4月に高齢者支援施設として開設されました。様々な人々が出会い、つながり、地域に開かれた太陽のように明るくあたたかい場所となるよう願いを込めてサンホームと名付けられました。開設以来、1階の地域交流スペースを中心として、地域やボランティアの方々など、多くの方が集う多世代交流の場としての役割を果たしてきました。現在はコロナ禍により、多数の人が集う活動を制限していますが、長らくコロナ時代だからこそ、工夫して「多世代の方とつながる場所」を創るために、1階の地域交流スペースの改装を行いました。高齢者や家族、子どもや保護者等にやさしい設備とフロアレイアウトにして、人と出会うボランティア活動や健康促進、オンラインを活用したフレイル予防プログラム等の新たなスペースとして生まれ変わりました。人とつながる喜び、からだを動か

す楽しさなど、充実さを感じるプログラムを展開し、こころもからだも健やかであるための多世代交流の場所としていきます。

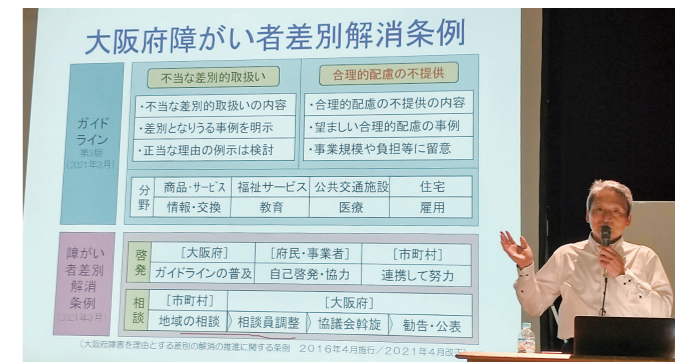


大阪YMCA人権教育委員会 委員長 **林 健太郎**

9月29日(水)、全ての事業の教職員を対象にオンラインで研修会を実施しました。目的は、「さまざまな人権問題についての基本理解を深める」「コロナ禍での人権について学ぶ」「個人として、事業として、日頃の活動を振り返り具体的な改善につなげる」ことです。講師に一般財団法人大阪府人権協会(大阪府人権協会)の理事 浩嗣氏をお招きし、「わたしからはじまる人権」と題してお話いただきました。

出席者からは、私たちの活動では、人権について十分に、「配慮」ではなく「変更」と「調整」が必要であること、人権はYMCAの使命の実践であり、ブランディングにも大きく関連していること、私たち一人ひとりができることを見つけ、行動を始めることが重要であることなど、多くの学びや気づきを得ることができたとの感想がありました。

今回の学びや気づきを事業所内で共有し、事業ごとにアクションプランを作成する等、研修を活かした改善につなげていきます。



「起立性調節障害(OD:Orthostatic Dysregulation)を学ぶ」セミナー報告

YMCA総合研究所 **重信 直人**

みなさんは中学・高校生の10人に1人が有病となっている「起立性調節障害(以下「OD」とする)」のことをご存知ですか？

朝、起きられない。たちくらみやめまいで思うように動けない。という症状の病気です。不登校になっている子どもたちの約3-4割がODを併存します。大阪YMCAではこの病気(予備軍を含む)で辛い思いをしている生徒や保護者に、学校での居場所づくりや症状改善のためのプログラムを展開しており、その一環で標記セミナーを8月20日(金)に開催しました。1部は関西医科大学総合医療センターの柳本 嘉時先生からの講演。2部はOD体験者談、3部は昨年度、文科省助成事業として実施した「OD児への遠隔運動指導」の事例報告を、YMCAスタッフ 並木 聡子が行いました。参加者構成は教育関係者が71%、保護者21%、役所相談職6%、教職をめざす学生2%で、教育関係者のODへの関心の高さがみられました。参加者からのコメントは、「ODについて理解でき偏見が解消された」(教員)、「改善に向けての具体的な実践方法であったため理解しやすく、明日から実践できる」(教員)、「エビデンスを示してくださり安心し、信頼できた」(保護者)、「非薬物療法が大切、病気であってもできることを探そうという内容など、親として子どもをサポートすることができると感じて嬉しい」(保護者)、「ODのケアの具体的な方法や、それについて

の社会資源を知ることができた。不登校について、ケースによっては医療的な説明をすることで、親に理解を得やすい内容もできると思う」(役所相談援助職)などがありました。

YMCA学院高校では来年4月から、健康に不安があり自宅学習中心で学べる「Yリンク」コースを新しく開設します。また、引き続き在宅から参加できる「遠隔運動プログラム」を実施し、居場所づくりや自己効力感を高めつつ、症状改善へのアプローチ研究を関西医科大学とともに進めてまいります。

起立性調節障害(Orthostatic Dysregulation)

- 思春期の5~10% 中学生に多い
- 自律神経系による起立時の循環制御機構が破綻
- 全身臓器、脳への血流が低下
- 約8割に心理社会的なストレスが関与
- 約5割に不登校を合併
- 不登校の3-4割が本症

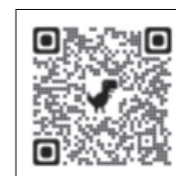
【イベント告知】大阪YMCA日本語教育センター 開設1周年記念特別セミナー

- テーマ** 「市民性」を育む地域日本語教室の活動のために一対話を促すツールとしての日本語学習教材
- 開催日** 2021年11月27日(土) オンライン(ZOOM)開催
- 参加費** 無料
- 対象** テーマに関心のある方であればどなたでもご参加いただけます
- 申し込み** <https://www.osakaymca.ac.jp/jle-center/2108.html>
- お問合せ** 日本語教育センター 06-7669-1133

51年の歴史を持つ大阪 YMCA 日本語教育事業は、2020年4月に日本語教育センターを設立いたしました。「平和と和解に満ちた共生社会の建設を追求する」ことを理念に掲げ、日本語学習が必要な児童・生徒、留学生、就労者などすべてのの方々に対し、地域社会や関係する諸機関と連携しつつ、質の高い日本語プログラムを開発・提供しています。

本セミナーでは、多様な文化をもつ人々が共生できる社会の実現についての講演の後、地域での日本語学習について、実際に使用されている教材を用いて紹介いたします。

社会が抱える課題に向けた取り組みについて知っていただく機会になれば幸いです。





継続は力なり

ユース事業部 YMCA桃の里 ^{わしみ} 鷺見 ちひろ

今年の夏はオリンピック・パラリンピックが開催され、「スポーツっていいな」「ちょっと運動はじめてみようかな」と運動やスポーツの魅力を感じた方が多かったのではないのでしょうか。

しかし、いざやってみようと思ったら何からはじめればいいのかわからなかったり、思った以上に身体が動かなかったり、なかなか効果が実感できないと思うことはないですか。筋力トレーニングや有酸素運動の成果が出るには3か月かかるというのが一般的で、はじめた運動を「継続」していくことが大切になります。まずは1日10分間のウォーキングから始めるなど、できる範囲で楽しみながら「継続」することがポイントです。

YMCAのスポーツクラスでは、未就園児の子どもたちからシニア世代まで幅広い方々を対象とし、運動を通して「こころ」と「からだ」のバランスのとれた成長を育むことをめざしています。その中で「できた!」「楽しい!」と感じる体験・気づきを大切にしています。

「継続は力なり」この機会に心身の健康のため、自分のペースで継続した運動をはじめてみませんか。



大阪YWCA / 関西韓国YMCA / 大阪YMCA
合同祈禱週集会2021

Beauty from Brokenness

こわれたものからの美しさ

毎年、世界中のYMCA・YWCAに連なる人々が1つのテーマをもとに、心をあわせ、祈りの時を持つ世界YMCA/YWCA合同祈禱週集会を開催します。

前半は、テーマに沿った祈りのひととき、また、後半の交流会では、各Yの活動報告を行う、どなたでもご参加いただける集いです。皆様お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

※オンラインでも開催いたします。

■日 時 / 2021年11月9日(火) 18:30~19:30

■会 場 / 大阪YMCA 土佐堀館703号室

※オンライン参加・ライブ視聴も可

■参加費 / 無料(礼拝の中で献金を捧げます)

■プログラム / 第1部…礼拝

メッセージ ^{きむむさ} 金 武士 牧師

(在日大韓基督教会 大阪西成教会)

第2部…活動報告

※恒例のお食事を伴う交流会は行いません。

YouTubeからもご参加いただけます。

視聴のみ可能です。時間になりましたら以下のリンクにアクセスしてください。(右記、QRコードからでも可)

▶ https://youtu.be/vOi6q_tkCKI



お問合せ

大阪YMCA 統括本部 総務
【TEL】06-6441-0894 【FAX】06-6445-0297
【E-mail】info@osakaymca.org

2021年度大阪YMCA大会のお知らせ

【日時】2021年11月23日(火・祝) 10:00~12:30(予定)

【会場】オンライン

【内容】大阪YMCAの活動報告、会員表彰者・国際奨学金受給者紹介、交流プログラムを予定しています。交流プログラムは、みつかる・つながる・よくなっていくの生の声、大阪YMCAのユースによるパネルディスカッション等、オンラインでも共に考え参加していただける内容です。

参加方法等、開催の詳細は大阪YMCAホームページにてお知らせいたします。

お問合せ

大阪YMCA大会事務局(大阪YMCA統括本部内)

【TEL】06-6441-0894 【FAX】06-6445-0297

【E-mail】info@osakaymca.org

【HP】<https://www.osakaymca.or.jp/volunteer/events/Osaka-YMCA-Convention/2021.html>
(11月中情報公開予定)



大阪YMCA早天祈禱会

YMCAを愛する人びとによって共に祈る時(毎月第3金曜日予定)が持たれています。YMCAの様々な場で活動されている方々にお話をいただき、人生の歩みを分かち合う恵みの時としています。

■第335回 日 時...2021年11月19日(金) 7:30~8:15

※朝食会はございません。

証 し...川岸 清さん

(元学校法人大阪YMCA理事)

場 所...大阪YMCA会館 10階 チャペル

※新型コロナウイルスの感染状況により、中止の可能性があります。

ユースリーダー安全支援金へのご協力に
感謝申し上げます。

2021年9月度報告・敬称略

石川慶子	清原久和	正野 忠之	長野 章子	森田 純子
伊藤 敏矢	葛島 経生	菅 秀晃	中元 麻衣子	森本 信子
大石 和秀	國本 廣江	高橋 京子	永山 大樹	安田 稔
大江 憲二	神前 順次	武田 新太	永山 莉帆	山橋 亜耶
大坪 梨木	河野 一郎	武田 龍一	林 健児郎	山手 祐莉
大庭 麻乃	斉藤 薫	竹野 華	藤井 恵	山手 梨花
大村 肇	坂田 啓子	竹野 寛美	松岡 慶一	山本 尚美
小島 英恵	笹山 公男	田中 章代	丸山 章	鷺見 ちひろ
北口 奈緒	澤飯 亜由美	堂本 隆子	物部 雄太	

皆様のご協力により、総額334,121円、255件(9月30日付)の募金を集めることができました。感謝をもってご報告させていただきます。

会員・賛助会員としてのご協力に
感謝申し上げます。

2021年9月度報告・敬称略

【継続会員】

伏見 茉莉
山本 直嗣
吉田 清三

【継続賛助会員】

大志野産業株式会社
関西キリンビバレッジサービス株式会社
株式会社バーナル

阪急電鉄株式会社

大阪YMCAのホームページで
その他の情報をご覧ください
ます。

